

## すべてのものの完成

2008年4月13日 アシェル・イントレーター、エディ・サントロ

神ご自身のご臨在と栄光によって地を満たすことは、神のご意志です。「(前略)主の栄光が全地に満ちている。」(民数記 14:21)この預言は非常に重要であるため、詩篇 72:19、イザヤ 6:3、イザヤ 11:9、ハバクク 2:14 で繰り返されています。

神の満ち満ちたさまによってすべてのものを満たすことは、イエシュア(イエス)の地上における役割の重要な側面です。「この下られた方自身が、すべてのものを満たすために、もろもろの天よりも高く上られた方なのです。」(エペソ 4:10)

地上を満たすという神のご計画はノアの時の大洪水のようではなく、幕屋の上の雲のようでもありません。主は地上をご自身の栄光で満たしたいと望まれ、それは、人々をご自身の栄光で満たし、彼らが地上を満たす事によって、主は地上をご自身の栄光で満たしたいと望まれています。

最初に、主ご自身の満ちたさまをすべてイエシュアの中に満たし、そしてイエシュアを地上に送って肉体を持って生まれるようにされました。「キリストのうちにこそ、神の満ち満ちたご性質が形をとって宿っています。」(コロサイ 2:9)

神はご自身の満ちたさますべてをイエシュアに置き、そして恵みにより、主はその満ちたさまを絶え間なく増え続ける取り分として、私たちに移しました。「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。」(ヨハネ 1:16)

もし私達が愛と信仰をもって歩み続ければ、私たちは最終的にはイエシュアと同じ満ちたさまへと完成されるのです。「人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたがたが満たされますように。」(エペソ 3:19)神の満ち満ちたさまは、私たちがそれを得るまで神から人へと移されるのです。

イエシュアの初期のユダヤ人弟子たちは聖霊の炎によって神の栄光を受けました。(使徒 2:2-4)福音を述べ伝える中で、その栄光は諸国へと伝えられました。(使徒 10:44)

「完成」という言葉は、ローマ 11 章に2回出てきます。1回目は諸国の教会を指しており、2回目はイスラエルの残りの人々(レムナント)を指しています。

諸国の民について、「イスラエル人の一部がかたくなになったのは異邦人の完成のなる時までであり(後略)」(ローマ 11:25)

イスラエルについて、「もし彼らの違反が世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるのなら、彼らの完成は、それ以上の、どんなにかすばらしいものを、もたらすことでしょう。」(ローマ 11:12)

神のご計画は、ユダヤ人と諸国の民両方を、主の栄光の満ち満ちたさまによって満たすことです。諸国の教会が、神から受けるべき自らの召命と栄光に完全に達するなら、イスラエルにリバイバルと回復をもたらします。「異邦人の完成のなる時までであり、こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。」(ローマ 11:25-26)

ユダヤ人信者の残りの人々(レムナント)が、神から受けるべき自らの召命と栄光に完全に達するなら、世界にリバイバルをもたらし、死者の復活と、イエシュアの再臨をもたらします。「もし彼らの捨てられることが世界の和解であるとしたら、彼らの受け入れられることは、死者の中から生き返ることではなくて何でしょう。」(ローマ 11:15)

現在、神の御霊は世界中の各国の教会を満たしています。自らの完成へと到達するにつれ、彼らはまたイスラエルのために祈ります。彼らの祈りを通して、イスラエルのユダヤ人信者の残りの人々(レムナント)も同様に神の栄光によって満たされるのです。

それが起こると、イスラエルと諸国両方の信者たちは、完成に到達するのです。真の教会(ヘブライ語でケヒラー、ギリシャ語でエクレシア)が、完成へと到達するのです。完成した教会を通して、地上は神の栄光に満たされるのです。「また、神は、いっさいのものをキリストの足の下に従わせ、いっさいのものの上に立つかしらであるキリストを、教会にお与えになりました。教会はキリストのからだであり、いっさいのものを、いっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。」(エペソ 1:22-23)この世を神の栄光で満たすのは、神の教会です。

イスラエルと教会を両方とも満たす過程は、計量カップに液体を注ぎ込むのに似ています。カップが一杯になると、「タイミング」が目前に控えています。時が満ちるのを決定する不可欠な要素は、タイミングというよりむしろ満たされることにあります。大いなるペンテコステのリバイバルが起こったのは「五旬節の日が満ちた」(使徒 2:1)時でした。その日が満ちた時、「みなが聖霊に満たされ」(使徒 2:4)ました。

イスラエルの残りの人々(レムナント)と諸国の教会それぞれが、神から受けるべき自らの召命に完全に達する時、イエシュアが再臨して主の御国を完成させるためのタイミングは満ちます。「時がついに満ちて、この時のためのみこころが実行に移され、天にあるものも地にあるものも、いっさいのものが、キリストにあって一つに集められることなのです。」(エペソ 1:10)

ユダヤ人と諸国の民の完成はまた、否定的な意味において使われることもあります。イエシュアがユダヤ人宗教指導者に対して非難した時、主は「先祖の罪の目盛りの不足分を満たす」(マタイ 23:32-25)とおっしゃいました。イエシュアは、「異邦人の時の終わるまで、エルサレムは異邦人に踏み荒らされます」(ルカ 21:24)、異邦人の時が満ちた時エルサレムは再びユダヤ人の手に戻されるとおっしゃいました。

それゆえ、ユダヤ人にも異邦人にも満ち満ちた罪と、救いの完成の両方のご計画をもっています。自分たちの罪を悔い改め、イエシュアより恵みを頂き、互いに祝福し合うならば、私たちは神の満ち満ちたさまによって完成されるのです。そして共に私たちは管となり、それを通して神はご自身の栄光を地上に満たすのです。